

人間社会学部／こどもコース	職名	准教授	氏名	鷺野 彰子
---------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業、ニューヨーク州立大学パーチェス・カレッジ大学院及びデン・ハーグ王立音楽院大学院修了、大阪大学大学院文学研究科博士課程後期修了、博士（文学）。2011年より本学に就任。スタンフォード大学人文科学大学院客員研究員(2016年度)。

ピアノ及び歴史的楽器（クラヴィコード、フォルテピアノ）の演奏活動、また19世紀の演奏様式を研究しており、近年は20世紀初期の歴史的録音やピアノロール等の資料を用いた演奏分析研究を行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 鷺野彰子, 2023, 「ヨゼフ・ホフマン（1876-1957）の即興的前奏演奏」『阪大音楽学報』19, 47-72.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 【研究発表】鷺野彰子「前奏を演奏する文化：初期録音に残された「前奏」演奏」日本音楽表現学会，誌上发表，2020年11月30日.
- ・ 【研究発表】Akiko Washino, Analyzing Piano Rolls and Acoustic Recordings of Chopin's Op.15 No.2 in Order to Investigate How Tempo Rubato Was Applied by Performers born in the 19th Century, 2nd Global Piano Roll Meeting, Hochschule der Künste Bern (Bern), 2022年6月18日.
- ・ 【研究発表】鷺野彰子「20世紀前半の演奏会における即興の前奏演奏実践例の分析」日本音楽学会第73回大会，西南学院大学，2022年11月27日.
- ・ 【一般誌論稿・雑誌記事】鷺野彰子, 2022, レコード誕生物語第52回「現代に通じるモダニスト。J.ホフマンのザ・ゴールドン・ジュビリー・コンサート」『レコード芸術』2022年4月号, 64-68.
- ・ 【一般誌論稿・雑誌記事】鷺野彰子, 2022, 「グレン・グールドの演奏とノイズ」及びディスク・レビュー『レコード芸術』2022年11月号, 49, 51, 54, 57.
- ・ 【一般誌論稿・新聞】鷺野彰子, 2022, 「膨大な数の蓄音機とSPレコードコレクション」『大阪日日新聞』2022年6月21日版, 8.

③過去の主要業績

- ・ 【演奏】鷺野彰子「シューベルトとヴォジーシェク」
ザ・フェニックスホール 2007年2月, 大倉山記念館 2007年1月.

- ・ 【演奏】 鷺野彰子「モーツァルトとショパン～隠れた水脈～」
 衍芸館 2008年10月, ザ・フェニックスホール 2008年10月.
- ・ 【演奏】 鷺野彰子「クラヴィコード and/or ピアノ」 ザ・フェニックスホール 2009年12月.

3. 外部研究資金

- ・ 平成31(令和元)年度-令和3年度(延長中) 科学研究費補助金・基盤(C)
 「19世紀の演奏文化における前奏演奏」(課題番号:19K00256)
 研究代表者 3,380,000円
- ・ 令和4年度-令和8年度 科学研究費補助金・基盤(B)
 「20世紀前半の歴史的演奏とピアノロールの演奏解析によるルバート奏法分析」
 (課題番号:22H00629) 研究代表者 14,560,000円

4. 受賞

5. 所属学会

日本音楽学会 日本音楽表現学会

6. 担当授業科目

(学部)

音楽Ⅰ・2単位・1年・通年、音楽Ⅱ・1単位・2年・前期、音楽Ⅲ・1単位・2年・後期、
 幼児と表現B・1単位・3年・前期、保育内容の指導法・表現B・1単位・3年・後期、
 演習・2単位・3年・通年、卒業論文・6単位・4年・通年、
 保育内容演習・2単位・4年・後期、保育・教育実践演習(幼稚園)・2単位・4年・後期

(大学院)

子ども教育表現研究・M1年・2単位・前期、子ども教育表現演習・M1年・2単位・後期、
 教育課題研究B・M1年・2単位・後期、子ども教育実践実習Ⅰ・M1年・2単位・後期、
 子ども教育実践実習Ⅱ・M2年・2単位・前期、地域教育課題演習・M2年・2単位・前期、
 特別研究・M1～2年・4単位・通年

7. 社会貢献活動

福岡県文化芸術振興審議会委員

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等